

2025年度 町田市立町田第一小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和8年3月31日

<p>学校教育目標</p> <p>◎考える子ども ◎ささあう子ども ◎たくましい子ども</p> <p>○目指す学校像……①子どもにとって、楽しい魅力ある学校 ②教職員が一人一協働し活動できる学校 ③保護者に信頼と親しみがある学校</p> <p>○目指す児童・生徒像……①自尊をもって自立し、互いを認め、高め合う児童 ②自分で選択・判断し、意欲的に学び続ける児童</p> <p>○目指す教師像……教育のプロとして、自分の仕事や学校に誇りと責任、自信をもつ教師</p>	<p>学校経営の重点 「明日が待たれる学校」づくりを目指し、明日が楽しみになる授業づくり力を入れる。昨年度からの継続で取り組んでいる研究の成果を7月4日の研究発表会で広く発信する。また、昨年度より休み時間を5分ずつ延長し、児童が思い切り体を動かす時間を確保している。</p> <p>重点目標の成果と課題</p> <p>今年度は研究発表を通して、町田市の教育プランの具現化を目指した授業改善に取り組んだ。研究発表後も引き続き研究を重ね、学校全体で児童が「分かる、できる、楽しい授業」を充実させてきた。また「またあした」のあいさつが定着し、明日が待たれる学校、「わくわく」する学校を築くことができた。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価	記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	地域の環境・人材を活用し、本校を「心のふるさと」として大切に、将来を考えることのできる子どもの育成を図る。	地域連携教員を中心とし、ポランティアコーディネーターと連携しながら、地域の環境・人材を活用した教育活動を行う。	4.年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施 3.年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施 2.年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施が70%未満 1.年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施が70%未満	4	A	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	93%	A	・ポランティアコーディネーターと連携した地域の環境・人材を活用した教育活動を行うことができた。さらにその取組が保護者で伝わっていることが昨年より15%上昇したアンケート結果からわかる。	・地域環境、人材を活用した取組を引き続き行い、保護者、地域が一体となった教育活動を推進していく。	・地域環境、人材を活用した取組を引き続き行い、保護者、地域が一体となった教育活動を推進していく。	・地域環境、人材を活用した取組を引き続き行い、保護者、地域が一体となった教育活動を推進していく。	A
		地域の見守りボランティアや青少年健全育成委員会、町内会等と連携し、情報共有・意見交換等を行い、一体となって子どもを育てる。	学校HPの記事を毎日更新し、学校教育活動の紹介をし、開かれた教育課程の実現を図る。学校だより、学年だより、保健だより等を連絡アプリ「Tetsuru」で行い、確実に情報を届ける。	4.週4回以上の更新 3.週3回以上の更新 2.週2回以上の更新 1.週1回以下の更新	4	A	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	93%	A	・学校だより、校長より、HPを活用して学校の教育活動を広げ開かれた教育課程の実現を図っている。またTetsuruを活用した情報共有を充実している。	・今年度の取組を継続し、さらなる充実を図る。	・地域行事に積極的に協力し校長先生を先頭に教職員も参加して、児童、保護者、地域と交流している。	・地域行事に積極的に協力し校長先生を先頭に教職員も参加して、児童、保護者、地域と交流している。	A
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が導く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	授業をデザインする8つの取組を踏まえ、子どもが「分かる できる 楽しい授業」を展開する。	見通しを持たせる導入(学びの地図の提示)を行うとともに、「わくわくポイント」のある授業づくりを行う。	3.80%以上のクラスで意識して公開に努めた 2.70%以上のクラスで意識して公開に努めた 1.全クラスのクラスが70%未満だった。	4	A	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	90%	A	・今年度は研究発表を行った。導入の工夫や「わくわくポイント」を設定することで子どもが「分かる、できる、楽しい授業」を展開することができた。その取組が保護者にも伝わっている。	・研究発表の取組みを継続的、発展的にしていく「めあて」「わくわくポイント」を意識した授業展開が子どもたちへ伝わっていて「意欲」「集中」「積極性」につながっている。	・「授業についてのめあて」が「まて」「はらちん」のことで「わくわくポイント」を意識した授業展開が子どもたちへ伝わっていて「意欲」「集中」「積極性」につながっている。	・「授業についてのめあて」が「まて」「はらちん」のことで「わくわくポイント」を意識した授業展開が子どもたちへ伝わっていて「意欲」「集中」「積極性」につながっている。	A
		学習への興味・関心を高め、子どもが「学び続ける力」を育てる。	学習リソース等ICT機器を積極的に活用し、児童の学習意欲を高め、学習習慣の定着を図る。学校図書館の積極的な活用を図り、読書活動への継続的な取組を推進する。	4.全ての指導場において意識して実施 3.80%以上の指導場において意識して実施 2.80%以上の指導場において意識して実施 1.80%未満の指導場において意識して実施	4	A	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	71%	B	・ドリルソフトの活用によって学習内容の定着を行い、個別最適な学びへ繋げている。一方で読書活動の定着は課題である。	・読書活動は年間計画を工夫しながら学校の取組を強化して定着を図っていく。	・子どもたちは授業の中で「選択」「判断」する場面を意図的に設定し児童が自由に意見を表明している授業は非常に明るく活発である。	・読書活動は年間計画を工夫しながら学校の取組を強化して定着を図っていく。	A
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にす意識・意欲・態度を育てる。	人を思いやり、共に生きていく力を育て、生命を尊重する教育を推進する。	月1回の「全校道徳」を含め、「考える道徳」議論する道徳となるような授業を展開する。	4.全ての道徳授業で指導実施 3.90%以上の道徳授業で指導実施 2.80%以上の道徳授業で指導実施 1.80%未満の道徳授業で指導実施	3	B	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	92%	A	・全校道徳の取組を通して児童の豊かな心が育てられている。	・次年度も継続して行い、さらなる充実を図っていく。	・係活動やいっしょに活動、特別活動において役割やふるまひなどを意識した先立の準備や方向性の準備が子どもたち自身の成長や豊かな心の成長につながっていると考えられている。	・係活動やいっしょに活動、特別活動において役割やふるまひなどを意識した先立の準備や方向性の準備が子どもたち自身の成長や豊かな心の成長につながっていると考えられている。	A
		「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つの視点を踏まえた望ましい集団の育成や集団活動を実施する。	心のアンケートの実施。回答に基づき聞き取りを徹底し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努める。	4.全ての指導場において意識して実施 3.90%以上の指導場において意識して実施 2.80%以上の指導場において意識して実施 1.80%未満の指導場において意識して実施	3	B	A.児童アンケートで、肯定的評価 80%以上 B.児童アンケートで、肯定的評価 70%以上 C.児童アンケートで、肯定的評価 55%以上 D.児童アンケートで、肯定的評価 55%未満	81%	A	・たてわり活動の「いっしょに活動」は「いっしょに活動」を通して6年生のリーダーとしての役割や全校児童のひとと関わる力を育てることができている。	・心身のアンケートの結果から気になる点は生活指導部を中心に迅速な対応ができていた。また状況に応じてSCや外部機関との連携も図られている。	・心身のアンケートの回答に基づき担任の先生方の丁寧な聞き取りによって、いじめの未然防止や家庭や学校生活に「いっしょに活動」を次年度も継続しひとと関わる力のさらなる充実を図る。	・心身のアンケートの回答に基づき担任の先生方の丁寧な聞き取りによって、いじめの未然防止や家庭や学校生活に「いっしょに活動」を次年度も継続しひとと関わる力のさらなる充実を図る。	A
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。	運動の日常化と健康教育及び体育の充実を図り、心身ともに健康な子どもの育成を図る。	体育科における授業改善を通して、「わかった」「できた」という達成感をもたせるとともに、「全校体育」の取組等運動の楽しさを味わわせ、運動・スポーツの日常化を図る。	4.全ての指導場において意識して実施 3.90%以上の体育の授業で指導実施 2.80%以上の体育の授業で指導実施 1.80%未満の体育の授業で指導実施	3.2	B	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	76%	B	・「全校体育」を想定し、学校全体で運動の楽しさを味わう教育活動を通して丈夫な体とたくましい心を育てる取組が行えた。	・「全校体育」を想定し、学校全体で運動の楽しさを味わう教育活動を通して丈夫な体とたくましい心を育てる取組が行えた。	・「全校体育」を想定し、学校全体で運動の楽しさを味わう教育活動を通して丈夫な体とたくましい心を育てる取組が行えた。	・「全校体育」を想定し、学校全体で運動の楽しさを味わう教育活動を通して丈夫な体とたくましい心を育てる取組が行えた。	A
		子どもが安心して学校に通い、周りの人と共に育ち、心身ともに健康な子どもの育成を図る。	日々の給食指導、「早寝、早起き、朝ご飯」等を実施し、正しい食生活・生活習慣を身に付けさせる。	4.全ての指導場において意識して実施 3.90%以上の指導場において意識して実施 2.80%以上の指導場において意識して実施 1.80%未満の指導場において意識して実施	4	A	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	82%	A	・食に関わる人々や命に感謝をし、食べる「感謝」をキーワードにした給食指導を行い、正しい食生活に加え感謝の心も育てられている。	・創意工夫を凝らした給食の献立により食育の充実を次年度も継続して行っていく。	・子どもたちが安心して楽しく体を動かすことができている。	・創意工夫を凝らした給食の献立により食育の充実を次年度も継続して行っていく。	A
その他		安全プログラムに基づいた、安全教育の充実を図り、毎月の安全指導や交通安全教室、情報モラル教室、セーフティ教室等を実施する。	「町」のまきりに基づいた共通認識のもと、統一した生活指導を行う。	4.全ての指導場において意識して実施 3.90%以上の指導場において意識して実施 2.80%以上の指導場において意識して実施 1.80%未満の指導場において意識して実施	3.3	B	A.保護者アンケート 肯定的評価 80%以上 B.保護者アンケート 肯定的評価 70%以上 C.保護者アンケート 肯定的評価 55%以上 D.保護者アンケート 肯定的評価 55%未満	92%	A	・「町」のまきりに基づいた共通認識のもと、統一した生活指導を行う。	・「町」のまきりに基づいた共通認識のもと、統一した生活指導を行う。	・「町」のまきりに基づいた共通認識のもと、統一した生活指導を行う。	・「町」のまきりに基づいた共通認識のもと、統一した生活指導を行う。	A

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)

取組指標平均 3.5以上	⇒ 評価A
取組指標平均 3以上3.5未満	⇒ 評価B
取組指標平均 2以上3未満	⇒ 評価C
取組指標平均 2未満	⇒ 評価D

成果指標評価基準

成果指標平均 80%以上	⇒ 評価A
成果指標平均 70%以上	⇒ 評価B
成果指標平均 55%以上	⇒ 評価C
成果指標平均 55%未満	⇒ 評価D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる
B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒ 目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※ 学校独自の設定する場合は、枠内を修正明記してください。  
※ 学校からの十分な説明のもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。